

## 現状と目指すところ（持続可能でより発展的運営体制、高校サッカーの発展と県立学校のアイデンティティ）

### 現状

地域の県千葉への関心は高く、さらに繋がりを強めることで共創の体制を構築することができる

#### 学校や県に頼った運営体制（県立学校）

ボランティア精神と個人の熱意に依存  
・地域や外部指導員の活用を推奨（国・県）  
→推奨はするが具体策は各学校  
→資金がない  
→ボランティアで指導してくれる人材が必要  
→指導者不足、適性でない待遇  
→歪みや軋みに繋がる  
・環境の格差  
→指導スタッフ  
→ハード面（人工芝グラウンドや照明、用具）  
持続可能でない運営体制  
拡がるクラブや私立との格差

受け身の状態ではなく自ら発展していく

### 目指すところ

日本の未来を担う県千葉とその生徒を地域が応援し、連携して活動していく 県千葉の地域貢献（現在・将来）

#### 学校や県と連携しつつも独立した運営体制（県立学校）

・習い事と同じように会費を支払いながら活動する  
・システムの構築  
→原資を稼ぐ  
→指導者に適切な対価を支払う  
→歪みや軋みの解消  
→指導者を志す人材の増加  
・環境面の相乗効果  
→より良い環境を目指し、工夫  
持続可能な運営体制  
・会費 ・スポンサーシップ ・各種イベントの開催  
・国、県、学校、のサポート（との連携）

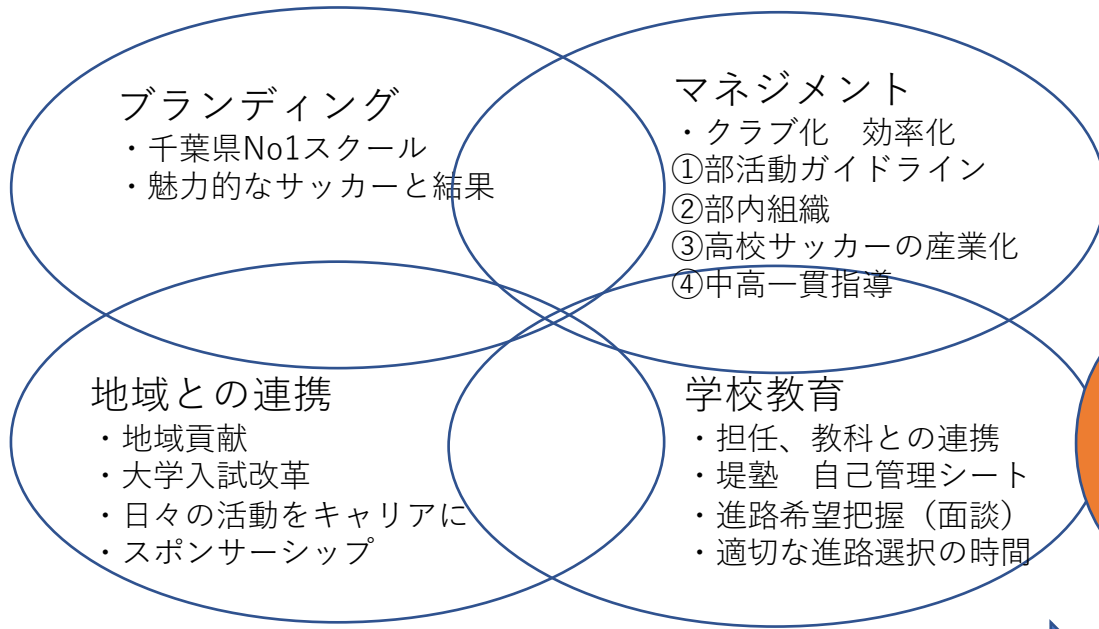
部活動・高校サッカー良さを残しつつ、クラブ化していく！  
Jクラブ、町クラブ、私立、市立との差別化（学校の色と伝統）！

高校サッカーを発展させていく ・「高校サッカーにのみ許された出場権」のある総体、選手権の価値を高める  
（ベースとしてこれが不可欠） ・学校の教育活動との連携、学業との両立や進路活動 ・プロ選手の育成 ・リーグ戦における結果（育成）

# 千葉県立千葉高等学校蹴球部

目的「幸せの最大化と不幸せの最小化に貢献するリーダーの育成」  
～1人ひとりの魅力で自分とみんなを笑顔にする～

県千葉の伝統、ブランド、生徒の力を最大限生かした部活動  
県千葉だからこそできるチャンス・強みがある



将来的により主体的な運営へ

## 伝統を守る：一意一蹴

56年前全国高校サッカー選手権大会千葉県大会優勝  
名将達が監督を務めた超伝統校

## モデル化：県千葉スタイル

- ・高校と地域のイノベーション
- ・教育環境を充実させる取り組み→さらなる改善  
部活動・学校教育の最適化
- ・時代錯誤の旧弊による歪みや軋みをなくし、  
高校サッカーを、学校を「快適に」  
していこうとするイノベティブな試み→  
もっと暮らしやすく、生きやすい、豊かな環境を作る

### 応援されるクラブ

スポーツの価値を高める  
学業とスポーツの究極のリンク



そこに1人ひとりの成長がある。  
これらの経験をした幸せの最大化と不幸せの最小化に  
貢献するリーダーや担い手を輩出する

堤の想い：勉強もサッカーも本気でできる環境

# 県立千葉高校年間計画

月		4	5	6	7	8			9	10		11		12	1		2	3				
学校行事				中間 考査		期末考 査						中間考 査	修学旅 行		期末考 査		年末年 始			期末考 査		
A	大会	関東予選 総体地区予選		総体県予選					選手 権1次			選手権県予選							新人戦			
	リーグ戦	県4部リーグ											無し									
	合宿・フェス ティバル等											千葉市ユース					飯能遠征	シーズ ンオフ	練習試合 強化期間		自己鍛錬期	筑波遠征
B	リーグ戦	県5部リーグ											無し									
	合宿・フェス ティバル等																飯能遠征	シーズ ンオフ	練習試合 強化期間		自己鍛錬期	筑波遠征
1年生		フレッシュマン期間																				
割合(カ テゴリー 毎異なる)	技術	3		2		1		2		3		3		ポスト、プレシーズンでしかできないこと(個の総合力、戦術の徹底的落とし込み、フィジカル強化)								
	戦術	4		5		3		4		4		4										
	体力	3		3		6		4		3		3										
テーマ	技術	止める・蹴る・運ぶ・外す等											攻撃のテクニック(パス、ドリブル、キック、ボレー等) 守備のテクニック(ステップ、寄せ、スピコン等) ヘディング、クリア等の選択・組み合わせルーティン		ゲームで出た課題に対してフォーカスして行う(反復・定着)			ルーティンの確認		ドリブル・キープにフォーカス ボールを保持する内容にフォーカス		
	戦術	個人戦術(仕掛け・縦パス・か けひき等個人または小数による 考え方)			個人戦術・ 少人数にお けるグルー プ戦術		グループ戦術・チーム戦術(前からの追い込みと運動連続、後ろの安定、バランスの とれた攻守、両立したポジショニング、縦横ギャップのケア、アプローチの質、判断)、 表裏一体の攻守、スペース概念の強化、いくらボールが動いても同一視、トライアン ドバック、前にも後ろにも行ける守備						攻撃チーム・グループ戦術(徹底的に背後を狙う、ポジ ショニング、ずらす、浮いた選手を判断する、コンビネー ション、判断を変える)			守備戦術(コンパクト フィールド、1stの決 定、チャレカバ、受け 渡し、ぼかし)						
	体力	ミドルパワー・ハイパワー・アジリティ											ローパワー・ミドルパワー(トータル)・筋カーケガをしない・1年間戦える身体作り									
	中学校	大会 連携					総体 大会訪問					中学校訪問		新人戦県大会 大会訪問								
クラブ チーム	大会	日本クラブユース選手権			リーグ戦						高円宮杯		リーグ戦									
	連携	1次		決勝R							県大会											
トレセン		マッチデートレセン視察(U-15、14、13)																				
中学校3年生		練習参加				練習参加(8月学校説明会)(10月1日体験入学)9月中学校訪問						進路決定		入試								

※テーマはあくまでも中心に行うものであって、総合的な練習を弾力的に行う。

県千葉蹴球部週間スケジュール

		月	火	水	木	金	土日		
		試合の修正TR	Condition	OFF	試合へ向けた戦術TR	試合へ向けた戦術TR	試合前アップ		
16:00				OFF					
16:05	ボールフィーリング	ポジション別 セットプレー個別			ボールフィーリング	ポジション別 セットプレー個別	ボールフィーリング		
16:10	DFステップワーク				DFステップワーク			DFステップワーク	
16:15	ヘディング				ヘディング			ヘディング	
16:20		セットプレー合わせ				セットプレー合わせ	競り合い系 切り替え系		
16:25	クリア/LFB/セカンド				クリア/LFB/セカンド				
16:30		レイモンド サーキット			戦術TR①	ボールフィーリング	ゴール前		
16:35						DFステップワーク	スプリント		
16:40	修正TR①					ヘディング			
16:45			48 間対面パス			クリア/LFB/セカンド			
16:50		無限2v2 対人系			戦術TR②	戦術TR①	試合 個別修正TR 振り返り/課題抽出 次週TR計画構築		
16:55									
17:00					カウンターTR	戦術TR②			
17:05	修正TR②								
17:10									
17:15		ランパス			ゲーム形式	ゲーム形式			
17:20									
17:25	フィニッシュ								
17:30		1/4or1/8コート4vs4 間ヘディング							
17:35									
17:40	ゲーム形式 or フィニッシュ								
17:45									
17:50									
17:55									
18:00									
環境									
GK	フィールド系orオフ	フィジ+フィニッシュ	OFF	小室TR	小室TR	TR多めに実施			
FM	ミニゲーム等 中学校グラウンド活用	全体フィジカル	小室TR	中学校グラウンド活用	OFF				
中学生									
スタ ッフ	堤	メイン	国体	オフ	メイン	メイン	4部 5部 5部		
	小室	オフ・教材研究	メイン+GK	1年生	GK	GK	GK・4部		